

# 愛知県議会議員

— 自民党1期 —

## 神谷 和利



昨年、我が国の出生数は前年比マイナス5%の77万人。過去最少で人口減少傾向が加速しています。それが顕著なのが山村地域で、「限界集落」という言葉で警鐘が鳴らされて30年、様々な対策が取ら

昭和36年1月2日生まれ。豊田市柿本町3-34。愛知県議会県民環境委員会副委員長。同行財政改革・地方創生調査特別委員会委員。自民党愛知県第11選挙区副支部長。元豊田市議会議長。愛知県森林協会副会長。豊田市少林寺拳法協会会長。ボーイスカウト豊田地区副協議会長。

### 持続可能な儲かる林業を

れてきましたが、過疎化進行に歯止めがかからないのが現状です。

農業用水、森林、道路などの維持管理が集落としてできなくなれば、莫大な税金を投入して専門業者に委託せざるを得ず、破綻する

自治体も出て来ます。そうならないよう山村地域の定住促進を図ら

林業先進国ドイツの木材自給率は100%！

給率はなんと100%です。1959年に96%だった日本の木材自給率は割安な輸入木材の増加で下がり続け、2002年には史上最

低の18%まで低下。山村地域過疎化の大きな要因となりました。

しかし間伐材や木材チップでは儲かる林業とは言えません。

持続可能な儲かる林業とするには、利用期を迎えた森林を伐採・搬出し、植栽・育林するコストまで適正に反映した木材価格でなければなりません。木材自給率を押し上げ、山主や林業従事者の所得補償をすることにより

以外に道はないと思います。

林業先進国ドイツの林業従事者は120万人で日本の4万5千人の26倍。日本より森林面積が少ないドイツの間木材生産量は日本の2倍以上で、木材自

近年の国産材振興策と脱炭素化の流れで、バイオマス発電に使う木材チップなど燃料用の需要が増加しており、木材自給率は回復傾向にあります。2020年には半世紀ぶりに40%台に回復しました。

儲かる林業を後押しすることは、日本の未来にとって有効な税金の使い道だと思います。